

防災減災を進化させる、
若きエンジニアたちの挑戦！



第4回 高専防災減災コンテスト 最終審査会



2026.1.24(土) 11:30-17:00

つくば国際会議場中ホール 300

オンライン同時配信・会場来場ともにお申し込みが必要です

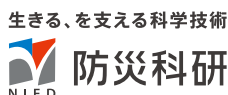
お申し込みは12月15日(月)12:00～

入場無料



全国の高専から選ばれた10チームが集結。地域特有の防災課題に、科学と技術の力で挑みます。
課題発見から実証まで、主体的に取り組んできた高専生たちの探究心と行動力に富んだ発表は必見です。
最終審査会の様子は、全国の高専関係者やご家族の皆さまもオンラインでご覧いただけます。
また、会場限定で高専生と直接交流できるポスターセッションも開催。
防災減災を進化させる、若きエンジニアたちの熱き挑戦を、ぜひ会場でそしてオンラインで応援しよう！

出場校、プログラムは裏面をご覧ください



【主催】独立行政法人国立高等専門学校機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人国際科学振興財団

【後援】文部科学省、一般社団法人全国高等専門学校連合会、日本放送協会（NHK）

【協賛】応用地質株式会社、株式会社関電工、三菱電機エンジニアリング株式会社

お問い合わせ



国立研究開発法人防災科学技術研究所
高専防災減災コンテスト事務局

info-kosencon@bosai.go.jp

最終審査会プログラム

高専防災減災コンテスト

11:00-13:30 ポスターセッション（登録不要）

13:30 開会・主催者挨拶・コンテスト趣旨説明・協賛社紹介

13:40 アイデア検証進出チームプレゼンテーション

- 1 函館工業高等専門学校 「[ココロボ×電波でつながる函館プロジェクト]～函館高専×FMいるかから始まる防災ネットワーク～」
- 2 福島工業高等専門学校 「毎日に防災を！防災カウントダウンカレンダー」
- 3 福井工業高等専門学校 「災害時孤立地域の自主避難ビニールハウスの謎を解き明かす。そしてその先へ」
- 4 福井工業高等専門学校 「ベストなベスト ～身に着ける安心～」
- 5 豊田工業高等専門学校 「WAS（Water Break Damage Assessment System）断水被害調査システム」
- 6 和歌山工業高等専門学校 「事後対策型防災杖「用心棒」の開発」
- 7 和歌山工業高等専門学校 「風船を用いた耐震化『BAL-SS』」
- 8 鹿児島工業高等専門学校 「卵の殻を用いたシラスの改良～廃棄物削減もめざして～」
- 9 沖縄工業高等専門学校 「災害発生時の公衆通信網遮断時でも使用できるスマートフォン～アドフォン～」
- 10 沖縄工業高等専門学校 「AI音波消火器を搭載したドローンSOFIA」

16:00 表彰式、講評、閉会

応用地質株式会社様からのメッセージ



『人と地球の未来にベストアンサーを。』この思いを胸に、私たちは、安全・安心な社会構築に貢献する事業を日々展開しています。台風・豪雨や地震などの自然災害による被害を減らし、環境・エネルギー問題に挑む、それが地球科学のエキスパート集団としての私たちの使命です。

皆さんのテーマを拝見し、私たちと同じ志向の歩みであると強く感じています。最終審査会で発表される皆さんのアイデアは、多くの人に新たな気づきを与え、ここでの一歩が、社会課題を解決する力となり、何より皆さんにとってかけがえのない経験になるはずです。

全国の高専生の皆さん、学生時代の挑戦は、社会を動かす原動力になります。このコンテストで、その可能性を全力で感じてください。

株式会社関電工様からのメッセージ



私たち関電工は、全国のビル・商業施設などの電気・空調衛生設備や、電力・通信インフラ設備の企画・設計・施工・メンテナンス・リニューアル等、一貫したエンジニアリング事業を行う、設備工事業界のリーディングカンパニーです。人々の“当たり前の日常”を支える企業として、私たちのエンジニア力を結集して、脱炭素社会の実現に資する提案・施工や、災害時のレジリエンスをテーマにした研究開発にも積極的に取り組んでいます。

私たち関電工は、地域に密着した高専生ならではの独自視点から、柔軟な発想とアイデア溢れる技術で防災減災に関する社会課題の解決を目指す高専生の皆さんを、心から応援しています。

三菱電機エンジニアリング株式会社様からのメッセージ



三菱電機エンジニアリング

三菱電機エンジニアリングは家電から宇宙分野まで幅広い製品の開発・設計を専門に行っています。社会インフラ事業では防災・減災関連の技術提案も行う等、皆さんの研究と親和性がある課題にも取り組んでいます。

アイデア検証進出に向けて、皆さんは課題解決のために知恵を絞り合いチームメンバーと高めあってきたかと思います。この経験は社会人になってからも必要不可欠なスキルとなりますので、あと一歩の努力を惜しまずに頑張ってください。

私たち三菱電機エンジニアリングはコンテストに挑戦する高専生の皆さんの活動を応援しています！挑戦を楽しみ、仲間と共に成長し、夢に向かって進んでください！！

つくば国際会議場までのアクセス

